

# 田賀屋狂言会 特別公演

～28年ぶりの釣狐～



2023年

9  
月  
18  
日  
(月・祝)

岡山

tenjirin  
能楽堂ホール

# 田賀屋狂言会 特別公演

## ～28年ぶりの釣狐～

岡山で「釣狐」が舞台上で演じられるのは  
田賀屋夙生が1996年に演じて以来28年ぶりとなるようです。

今回は田賀屋の次男、島田洋海が老狐を演じます。

狂言師としては非常にチャレンジングな演目になります。

舞台、客席ともに緊張感を強いる舞台は体力的にも精神的にも試されます。

もう一つのお題は田賀屋が奏者を演じる「佐渡狐」です。

同じ狐を題材とした演目ですが、こちらは大いに笑ってお楽しみください。

緊張と緩和が共存する特別公演。

千五郎をはじめ茂山千五郎家の若手も赤岡し、賑々しい舞台になります。

9月18日(月・祝) 14:00 開演

能楽堂ホール tenjin9

岡山県岡山市北区天神町9-24

RSKイノベティブ・メディアセンター1F

さどぎつね  
佐渡狐

奏者 田賀屋夙生  
佐渡の百姓 茂山宗彦  
越後の百姓 茂山逸平

越後の百姓と佐渡の百姓が都の領主に年貢を納めに行く途中、佐渡に狐が「いるか」「いないか」で賭けをし、その判定を領主の奏者(取次役人)に頼みました。佐渡に狐がいる筈がありません。佐渡の百姓は狐が「いる」と判定するよう、奏者に賄賂(わいろ)を渡すと、奏者は越後、佐渡二人の前で「佐渡に狐はおる」と宣告。これを不審に感じた越後の百姓は、狐の姿・形を佐渡に問い詰めます。当然、佐渡は知りません。さて結末はいかに…。

奏者に賄賂を渡すところ、佐渡、越後、奏者の三人が狐の姿・形を身振り手振りで教えカンニングするところはこの狂言の見どころでしょう。

つりぎつね  
釣狐

老狐 島田洋海  
獵師 茂山千五郎

狂言二百番のうち難曲中の難曲、大曲中の大曲。狐のぬいぐるみを着て約一時間に及ぶ体力と精神力の限界、さらに過酷な演技を要求される演目です。

物語は、獵師に一族の若狐を釣り取られ、これを止めさせようとする古狐が伯蔵主(はくぞうす)という僧体に化け、狐の執心の恐ろしさを示す言い伝えをコンコンと話し、獵師に罌を捨てさせ狐狩りを諦めさせようとします。

前半の古狐(伯蔵主)と獵師の緊迫した場面、反対に、後半の僧衣を脱ぎ捨て狐の姿になって罌の油揚げを食べようか食べまいかと逡巡する場面の滑稽さが見どころでしょう。

鑑賞料	全席指定席		
	一般	SOJA会員	学生
前売券	5,000円	4,500円	2,000円
当日券	6,000円		

※クラブSOJAへ入会するにはこちらまで  
[kyotokyogen.com/soja/](http://kyotokyogen.com/soja/)



### チケット販売窓口

田賀屋狂言会事務局 TEL.086-255-4101  
(広坂方)

田賀屋夙生 TEL.090-8607-4347

茂山狂言会事務局 TEL.075-221-8371

チケットぴあ <https://t.pia.jp>  
『チケットぴあ』で検索 (Pコード: 519-735)

主催 田賀屋狂言会  
共催 RSK山陽放送

後援 岡山県 岡山県教育委員会 岡山市 岡山市教育委員会 (公財)岡山県郷土文化財団  
山陽新聞社 さりお山陽リビングメディア (公財)福武教育文化振興財団

問い合わせ 田賀屋狂言会事務局(広坂方) TEL.086-255-4101 田賀屋夙生 TEL.090-8607-4347

リーフレット制作: 大久保